

「川ガキ」の姿 捕らえた20点

阿波の酒蔵で展示

人と川とのかわわりを
テーマにした活動を続け

ているカメラマン村山嘉昭さん(31)は東京都北区の写真展「川ガキのいるところ」が、阿波町元の町の割石(せきいし)酒蔵で開かれている。写真はそのうちの1点。17日まで。入場無料。

村山さんは雑誌社など

に勤める傍ら、10年ほど前から川を守る運動に携わってきた。「多くの人に川の懐かしさを感じてもらいたい」と、吉野川をはじめ全国の川を巡り、普段から川で遊んでいる子ども「川ガキ」を撮影しているという。

展示して

いるのは計約20枚。川に潜って魚に囲まれながら自在に泳ぎ回る子どもを水中でとらえたものや、川に架かる橋から3人が同時に飛び込む瞬間など。写真は

つり、自然な風に揺られるようにして展示全体で「川」をイメージしたという。

会場は江戸末期に建てられたという酒蔵。「昔はこんな風に遊んでいたよ」という親子の会話が聞こえそうな雰囲気でしょう」と村山さん。

14、17日は、撮影の様子を説明するスライドショーもある。問い合わせ先は村山さん(090・5763・5676)。



パネルではなく布に印刷して糸で